

あけましておめでとうございます
 本年もどうぞよろしく願い申し上げます

ふくろ幼稚園教職員一同

元気のもと

園長 篠澤 恵理

幼稚園の玄関に子どもたちの作品を飾り、新しい年の幕開けです。年長もり組作品の「丑」は、どれもにっこりと笑っていて、園生活を楽しんでいる様子が伝わってくるようです。年少こりす組作品の「お正月飾り」は、小さな手を一生懸命に動かしながら作っていたことが思いだされてほのぼのとした気持ちになります。作品の前を通るたびに足が止まり、子どもたちの元気を分けてもらえる幸せを感じます。

さて、私は一年の初めに、児童精神科医である佐々木正美氏の「はじめは愛着から」（福音館）という本を読み直しました。そこには、子どもが日々の生活を意欲的に生きるために必要な『元気のもと』を育むことについて書かれています。子どもが「親から満足され、愛されているという実感と、自分が親に喜びを与えているという実感をもつこと。」つまり「親が子どものよい面を見つけて、そのことに喜びを抱きながら、子どものありのままの姿を肯定的に受け止めると、子どもは親に愛されていると実感し自分の性格や能力に肯定的な実感を抱けるようになっていく。」「子どもが好むことを親が喜んで一緒にすることは、子どもの心に大きな喜びと自信をもたらす。」とのことです。子どもの意欲を生み出す『元気のもと』は、今の自分は受け止められているという安心と、今の自分は役に立つという自信の上に育つことを改めて感じています。

新しい年を迎え、子どもたちが次のステップに向けてさらに成長する時期となりました。先のことを心配して、欠点や弱点を指摘しがちになりますが、子どもが自ら育とうとする力を信じたいものです。幼稚園では、新年の初めに「皆さんの作品のおかげで、玄関が明るく楽しくなった。」という喜びを子どもたちに伝えたいと思います。子どもたち一人一人のよさを改めて言葉にして伝えていくことで、子どもたちにとって、周りの大人が自分の成長を喜んでいることを実感できることが大切です。ご家庭も幼稚園も、子どもたちが面白がっていることを一緒に楽しみ、一生懸命に取り組んだことを見逃さずに共に喜び合うことで、子どもたち自身が周りに「喜びを与えている」と実感し、意欲的に行動する『元気のもと』が育つように支えていきましょう。職員一同気持ち新たに、子どもたちの笑顔が輝く毎日のために力を尽くしてまいります。本年も、ご理解・ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

《今月のめあて》

- 4歳児 ・気の合う友達と一緒に、ルールのある遊び（正月遊び・運動遊び等）を楽しむ。
 こりす組 ・学級全体であることを楽しみ、その中で自分なりの表現をしたり、友達と一緒に動いたりする心地よさを感じる。
- 5歳児 ・学級全体の課題に向かって、友達と考えを出し合い、協力して取り組み、満足感を味わう。
 もり組 ・いろいろな遊びの中で文字や数に触れ、自分の力を十分に発揮して遊ぶ楽しさを味わう。

今月の歌

☆ ゆげのあさ ☆

- | | | |
|---|---|---|
| 1 おはよう おはよう ゆげがでる
はなから くちから
ぽっぽっぽ ぽっぽっぽ
きしゃぽっぽ みたいで
ゆかいだな | 2 こどもも おとなも ほらいぬも
はなから くちから
ぽっぽっぽ ぽっぽっぽ
きしゃぽっぽ みたいで
ゆかいだな | 3 おはよう おはよう みんなおいで
はなから くちから
ぽっぽっぽ ぽっぽっぽ
きしゃぽっぽ しゅっぽっぽで
あそぼうよ |
|---|---|---|